２０１７年度　年間指導計画　　０．１歳児　マリヤ組　　担任:後藤美幸　補佐：赤嶺実希、江越まゆみ

年間目標	○生理的欲求を満たし、安定した生活リズムで元気に過ごせるようにする。　さまざまな食品や調理形態に慣れ、楽しい雰囲気のもとで食べることができるようにする。 ○保育者に見守られ、励まされながら身の回りのことを自分でしようとする気持ちを持つ。 ○感触や全身を使って遊びながら心身を開放し、興味や好奇心を持って過ごす。 ○戸外遊びや探索活動を楽しみながら、生活体験を広げ、健康な体作りをする。 ○保育者との信頼関係を基に友達とのかかわりを楽しむ。　○保育者に支えられて、自分の気持ちを安心して表せる。 **○聖書、礼拝に参加してお祈りなどを体験する、讃美歌を歌う**	
期(月)	Ⅰ期（４月・５月）	Ⅱ期（６月・７月・８月）
ねらい	○生理的欲求を満たし、健康で衛生的な生活を送れるようにする。 ○子どもの気持ちを受け止め、ていねいにかかわることで情緒を安定させて、安心して生活できるようにする。 ○新しい環境に慣れて安定した園生活ができるように、環境構成をする。 ○自分の好きな玩具や遊びを見つけて楽しく遊ぶ。 ○保育者の仲立ちにより、友達やほかの先生ともかかわりを持って遊ぶ。 ○戸外で自然に親しみ遊ぶ。 ○個人差を重視しながら歩行の確立を目ざす。 **○聖書、お礼拝に参加する**	○子どもの気持ちを受け止め、ていねいにかかわることで情緒を安定させて、安心して生活できるようにする。 ○保育者との信頼関係ができて友達とのかかわりを持って遊ぶ。 ○身の回りのことへの興味を育て、自分でやろうとする気持ちをはぐくむ。 ○好きな遊びを見つけて、じっくり遊べるようにする。 ○砂遊び、泥んこ遊び、水遊びを通して指先を使った遊びを十分に楽しませる。 ○好きな絵本を読んでもらったり、手遊びやリズム遊びを楽しんだりする。 ○一回寝が定着してくるが、体力的には個人差があるので十分に配慮する。 ○友達への興味が広がってきてトラブルが出てくるので代弁したり仲介に入り、社会性をはぐくむ。 **○聖書、お礼拝に参加して讃美歌を聞く。**
内容	○ひとりひとりの健康状態・身体発育の状態を把握する。 ○ひとりひとりの子どもの気持ちや欲求を十分に満たし、温かく受容しながら新しい環境に慣れるようにしていく。 ○個人差のある生理的な欲求を受容し、安定して過ごせるように生活のリズムを考慮する。 ○保育者への甘えや依存の欲求にこたえながら信頼関係を築き安定し過ごせるようにしていく。 ○身の回りのものに興味や好奇心が持てるように楽しい雰囲気や環境を整え媒体となる玩具も豊富に数・種類をそろえておく。 ○保育者の歌や手遊びを喜んで見たり聞いたりリズムに乗って体を動かしたりすることを楽しむ。 ○ひとりひとりの発育に合わせて体を十分に使って遊べるように安全には十分に配慮し環境を整える。 ○保育者といっしょに遊びながら、友達への関心を育て楽しみの心をはぐくむ。 **○聖書、お礼拝（イエス様のお話を聞く・お祈りをする・讃美歌を歌う）**	○子どものいろいろな感情が安心して出せるように保育者と信頼関係を築く。 ○子どもの甘えや依存の気持ちに気づいて受け止め、代弁者となったりしてしっかり応答して、人とのかかわりを安心できるものにしていく。 ○信頼する保育者との関係を基盤に、ほかの保育者や友達ともかかわりを持ち、関心を深める。 ○いっしょに遊びながら、友達といっしょに遊ぶ楽しさを共感できるようにする。 ○取り合い・けんかなどは経験させつつ仲立ちとなり、双方の気持ちの代弁者となりかかわり方を知らせていく。 ○かみつき・ひっかきなどが出現する時期であることを配慮して、ゆったり過せる保育室の環境や生活の流れを整える。 ○身の回りのことを自分でしたいという意欲を育て、さりげなく援助しながらできる喜びが味わえるようにしていく。 ○水・感触遊びなどには好き嫌いや経験の個人差があるので、無理強いすることなく徐々に親しんでいけるように配慮する。 ○読み聞かせは言葉の獲得に向け適切なものを選ぶ。 ○いつでも子どもが手に取って自分でページがめくれたり、読んでほしいと言えたりする環境を整える。 ○家庭と連携して子どもの健康状態や発育状態を把握し生理的な要求がいつも満たされ健康に過ごせるように配慮する。 ○保健衛生には十分に留意し、ゆったり快適に過ごせるようにする。